

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	がん医療に携わる医師等に対する研修事業等		担当部局庁	厚生労働省		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度		担当課室	がん対策・健康増進課		がん対策・健康増進課 木村 博承	
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-7 健康づくりを推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	がん対策基本法第13、14、16、17条		関係する計画、通知等	「がん対策推進基本計画」 ①「平成23年度がん医療に携わる医師に対する緩和ケア研修等事業の実施について」 ②「平成23年度インターネットを活用した専門医の育成等事業の実施について」 ③「がん医療に携わる医師に対するコミュニケーション技術研修事業の実施について」 ④「がん患者に対するリハビリテーションに関する研修事業の実施について」 ⑤「平成23年度国立がん研究センター委託事業の実施について」 ⑥「がん検診受診率分析委託事業の実施について」 ⑦「がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム策定事業の実施について」 ⑧「平成24年度小児がん医療に携わる医師に対する緩和ケア研修等事業の実施について」 ⑨小児がん病院のあり方調査事業費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	別添のとおり。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	別添のとおり。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	295	475	421	408	397
		補正予算					
		繰越し等					
		計	295	475	421	408	397
		執行額	295	286	350		
	執行率(%)	100	60	83			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	①～⑦の事業は、実施主体等による研修会の開催や、知識・技術の普及啓発など、目標値で評価する性質のものではないため、定量的な成果指標を示すことは困難である。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	① 研修開催回数		活動実績 (当初見込み)	回	40 ( 45 )	22 ( 36 )	— 30
単位当たりコスト	6百万円 (136百万円/研修開催回数)		算出根拠	研修事業費総額を研修会開催回数で除した1回当たりの費用			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	② 学習プログラム公開講義数		活動実績 (当初見込み)	回	60 ( 68 )	31 ( 30 )	— 30

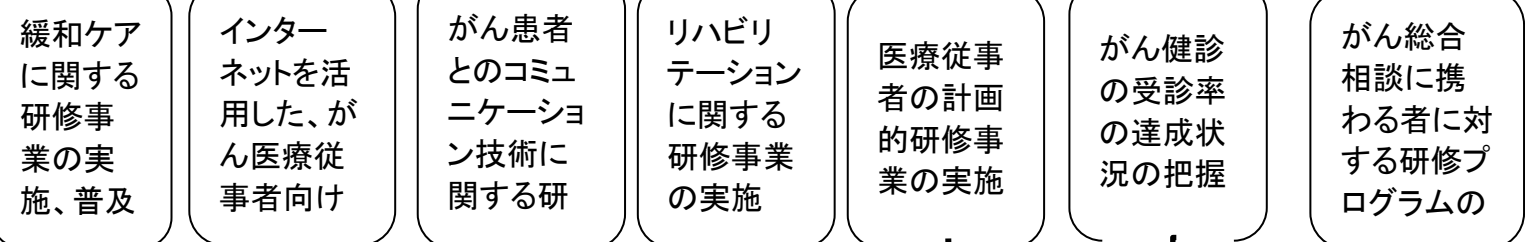
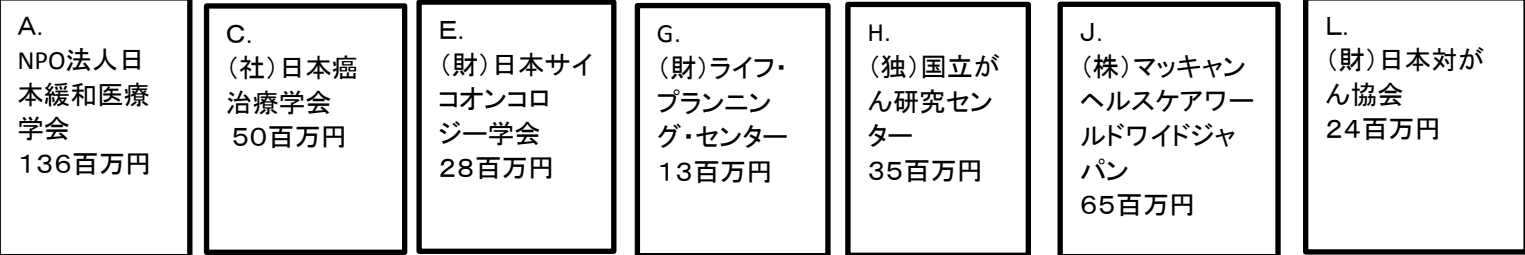
単位当たりコスト	37円 (49百万円/講義アクセス数)	算出根拠	E-ラーニング事業費総額を公開講義アクセス数で除した1回当たりの費用 49,631,000 ÷ 1,326,391 = 37.4円				
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	③ 研修開催回数	活動実績(当初見込み)	回	10 -	8 ( 8 )	8 ( 8 )	- ( 8 )
単位当たりコスト	3百万円 (28百万円/研修開催回数)	算出根拠	研修事業費総額を研修開催回数で除した1回当たりの費用 28,226,000 ÷ 8 = 3,528,250円				
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	④ 研修開催回数	活動実績(当初見込み)	回	4 -	5 6	6 ( 6 )	- -
単位当たりコスト	2百万円 (12百万円/研修開催回数)	算出根拠	研修事業費総額を研修開催回数で除した1回当たりの費用 12,860,000 ÷ 6 = 2,143,333円				
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	⑤本事業は研修等実態を把握することが目的なので、定量的な活動指標・実績を示すことは困難である。	活動実績(当初見込み)	回	- -	- -	- -	- -
単位当たりコスト		算出根拠					
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	⑥本事業はがん検診受診率を分析することが目的なので、定量的な活動指標・実績を示すことは困難である。	活動実績(当初見込み)		- -	- -	- -	- -
単位当たりコスト		算出根拠					
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	⑦本事業はがん総合相談に携わる者に対する研修プログラムを策定することが目的なので、定量的な活動指標・実績を示すことは困難である。	活動実績(当初見込み)		- -	- -	- -	- -
単位当たりコスト		算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	衛生関係指導者養成等委託費	408	397	「小児がん病院のあり方調査事業」の廃止による減			
	計	408	397				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	我が国においては年間人ががんに罹ると推計されていることから、がん医療の従事者に対する研修や、専門的な知識及び技能を有する医療従事者の育成を行うことにより、がん患者が適切な医療を受けられ、充実した療養生活を送ることができるものとして重要である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	がん対策基本法に掲げられる、がん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医療従事者の育成を全国的に推し進めるため、国として取り組むべき事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	各事業において、それぞれの実施主体団体が専門的な知見及び研修体実施体制等を有していることから、支出先として適切な団体が選定されているものである。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	各事業において、年を追う毎に交付金額が削減される中、研修開催回数や参加者の確保に努めている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	資金は事業実施主体へ直接交付しており、委託についても事業を効率的に行うためものとなっている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	各事業の実施要綱に定めた事業の範囲で資金の交付を行うこととなっている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	各事業の実施により、専門的な知識及び技能を有する医療従事者が育成されることで、がん患者の療養生活の向上を図れるものであり、他の手段と比較して実効性の高い手段となっている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	研修終了者の総数は年々増加している。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	研修会の開催回数はほぼ見込み通りの実績をあげている
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	事業実績報告書において成果の報告を受け、実績把握に努めているところ。	
点検結果	公益法人等への国庫金支出の徹底的な見直しの観点より、新規要求の事業を除き、平成22年度より予算規模の見直しを図っている。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業については、毎年度恒常的に不用が生じているものの、がん対策基本法に基づき、がん医療に携わる医師に対する緩和ケア研修等に必要事業であるため、事業内容及び予算規模を維持すべきであるが、引き続き、効率的な予算執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0317	平成23年行政事業レビュー	0287

厚生労働省 350百万円

がん医療に従事する医師等への研修事業が、適切に遂行できるよう、交付要綱に基づき委託費の交付を行っている。

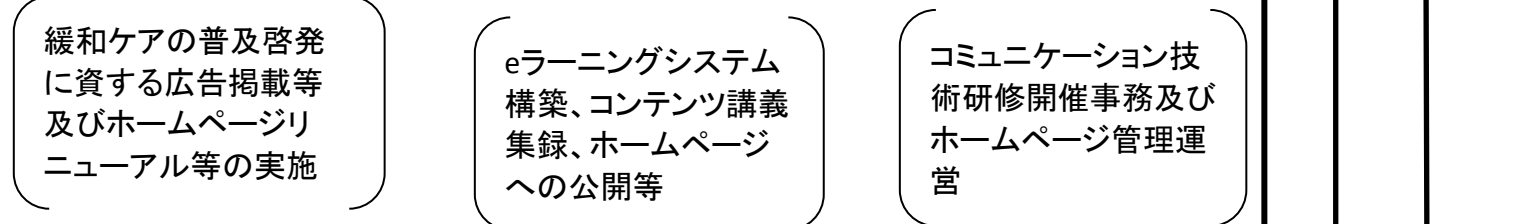
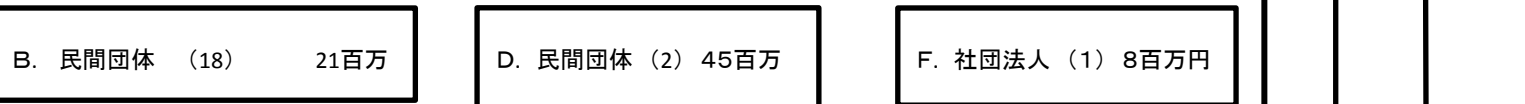
【委託】 【委託】 【委託】 【委託】 【委託】 【委託】 【委託】



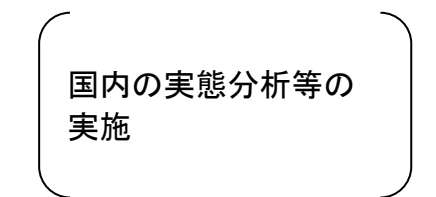
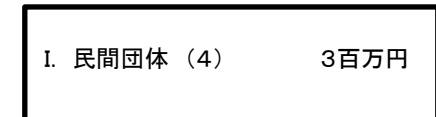
【随契】

【入札】

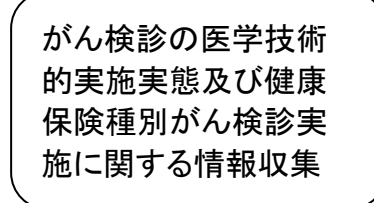
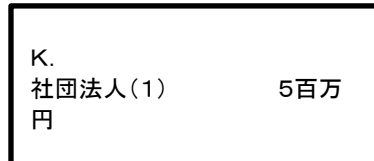
【随契】



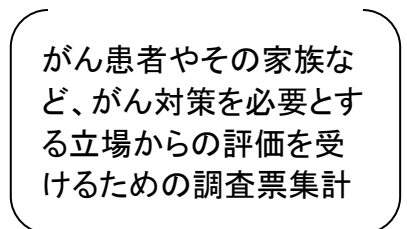
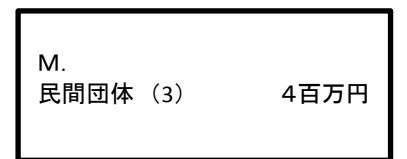
【随契】



【随契】



【随契】



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単位:  
百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.NPO法人日本緩和医療学会			F.一般社団法人 学会支援機構		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	Webサイトリニューアル政策等	41	研修運営費	コミュニケーション技術研修開催事務及びホームページ管理運営	8
委託料	講習開催、広告掲載	21			
借料及び損料	施設利用料	19			
印刷製本費	研修会資料(ハンドブック)印刷等	15	計		8
消耗品費	事務用品、普及啓発用モバイルクリナー	10	G.(財)ライフ・プランニング・センター		
賃金	事務職員	10	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	講師等旅費、会議旅費	8	賃金	事務員	5
謝金	研修会講師・フォーラム演者謝金	7	諸謝金	委員謝金	3
法定福利費	社会保険料	3	旅費	委員旅費	2
通信運搬費	郵送代	2	その他	消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、賃金及び借料	3
計		136	計		13
B.(株)電通関西支社			H.(独)国立がん研究センター		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
新聞広告掲載費	新聞広告掲載	6	委託費	拠点病院資料整理作業、システム開発	33
			通信運搬費	市町村、拠点病院等への郵送料	2
			計		35
			I.(株)アセンディア		
			費目	使途	金額 (百万円)
			データ整理費	拠点病院資料整理作業	14
			計		14
計		6	J.(株)マツキャンヘルスケアワールドワイドジャパン		
C.(社)日本癌治療学会			費目	使途	金額 (百万円)
費目	使途	金額 (百万円)	雑役務費	印刷機保守、スライド作成、データ入力	32
委託費	eラーニングシステム構築、コンテンツ講義集録、ホームページへの公開等	45	委託費	がん検診の医学技術的実施実態及び健康保険種別がん検診実施に関する情報収集	32
その他	諸謝金、消耗品費、印刷製本費、会議費	4	その他	旅費、消耗品費、印刷製本費	1
旅費	委員等旅費	1			
計		50	計		65
D.(株)コンベックス			K.(株)キャンサーズキャン		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
システム構築費	eラーニングシステム構築	44	情報収集費	がん検診の医学技術的実施実態及び健康保険種別がん検診実施に関する情報収集	32
			計		32
			L.(財)日本対がん協会		
			費目	使途	金額 (百万円)
			賃金	非常勤職員、派遣職員	9
			委託費	シンポジウム経営、経理業務	4
			雑役務費	銀行振込手数料、会議記録作成費、HP更新	3
計		44	借料及び損料	会場借料	2
E.(財)日本サイコオンコロジー学会			諸謝金	策定委員会委員謝金、参考人謝金	2
費目	使途	金額 (百万円)	印刷製本費	報告書、研究テキスト印刷	2
委託費	コミュニケーション技術研修開催事務及びホームページ管理運営	9	旅費	委員旅費、出張旅費	1
通信運搬費	宅急便、電話代	6	その他	消耗品費、通信運搬費、会議費	1
旅費	講師旅費、ファシリテーター旅費	4	計		24
諸謝金	研修会講師謝金、ファシリテーター謝金	4	M.(有)スタッフブレーション		
印刷製本費	研修会ポスター	3	シンポジウム運営費	シンポジウム運営	2
借料及び損料	会場借料	1			
その他	消耗品費、雑役務費	1	計		2
計		28			

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人日本緩和医療学会	緩和ケアに関する研修事業の実施、普及啓発	136		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)電通関西支社	新聞広告掲載	6		
2	(株)日経広告	新聞広告掲載	4		
3	伊東市立伊東市民病院	一般医師向け講習開催業務	1		
4	第二岡本総合病院	一般医師向け講習開催業務	1		
5	社会保険神戸中央病院	一般医師向け講習開催業務	1		
6	尾道市立市民病院	一般医師向け講習開催業務	1		
7	村上総合病院	一般医師向け講習開催業務	1		
8	川崎市立川崎病院	一般医師向け講習開催業務	1		
9	勤医協中央病院	一般医師向け講習開催業務	1		
10	宇治徳洲会病院	一般医師向け講習開催業務	1		
11	伊東市立伊東市民病院	一般医師向け講習開催業務	1		
12	公立山城病院	一般医師向け講習開催業務	1		
13	上尾中央総合病院	一般医師向け講習開催業務	1		
14	公立南丹病院	一般医師向け講習開催業務	1		
15	東葛病院	一般医師向け講習開催業務	1		
16	札幌ホスピス緩和ケアネットワーク	一般医師向け講習開催業務	1		
17	刈羽郡総合病院	一般医師向け講習開催業務	1		
18	なめがた地域総合病院	一般医師向け講習開催業務	1		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人日本癌治療学会	インターネットを活用した、がん医療従事者向けの講座公開等	49		

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)コンベックス	eラーニングシステム構築、コンテンツ講義集録、ホームページへの公開等	44	4	99
2	(株)サイバーリーガルクエスト		1	随契	

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人 日本サイコオンコロジー学会	がん患者とのコミュニケーション技術に関する研修事業の実施	28		

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人 学会支援機構	コミュニケーション技術研修開催事務及びホームページ管理運営	8	随契	

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人 ライフ・プランニング・センター	リハビリテーションに関する研修事業の実施	12		

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立がん研究センター	がん医療に携わる医療従事者の必要数及び不足している医療従事者数の把握	34		

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アセンディア	拠点病院資料整理作業	14	随契	
2	データリンクス(株)	予後調査支援および質問対応・管理に関わるシステム開発・運用業務の実施	12	随契	
3	日本放射線腫瘍学会	がん医療関係学会が実施している研修等の人材育成に関する情報収集	4	随契	
4	(株)ホクトスタッフサービス	情報入力集計、院内がん登録、調査時の電話対応、回答受付業務	1	1	98

J.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)マツキャンヘルスケアワールド ワイドジャパン	がん健診の受診率の達成状況の把握	64		

K.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)キャンサースキャン	がん検診の医学技術的实施実態及び健康保険種別がん検診実施に関する情報収	32	随契	
2	輿論科学協会	受診率全国調査の実施	5	随契	

L.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本対がん協会	がん総合相談に携わる者に対する研修プログラムの策定	24		

M.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)スタッフプレーン	シンポジウム運営	2	随契	
2	シンコンサルティングサービス(株)	経理業務	1	随契	
2	朝日新聞総合サービス(株)	広告掲載業務	1	随契	

## がん医療に携わる医師等に対する研修事業等

<p><b>事業目的</b></p>	<p>①～⑤ がん対策基本法及びがん対策推進基本計画に基づき、放射線療法及び化学療法の推進並びにこれらを専門的に行う医師等の育成や治療の初期段階からの緩和ケアを実施するための医療従事者の育成等を図るとともに、がん医療に従事する医療従事者への研修をより効果的かつ計画的に実施するため、がん医療に従事する医療従事者の実態や医療の提供を受けるがん患者の必要数や、不足している医療従事者の正確な数を把握し、将来の各種研修事業に役立て各種がん対策を総合的かつ計画的に推進することを目的とする。</p> <p>⑥ がん検診受診率の数値目標の達成状況を把握するとともに、受診率の抜本的な向上を図るため、国民に対しがん予防行動の必要性の理解及びがん検診についての普及啓発を図った上で総合的な対策の推進を検討するにあたり、市町村によるもののほか人間ドックや職域での受診を含め、様々な視点から分析することを目的とする。</p> <p>⑦ 都道府県に新たに地域統括相談支援センターを設置し、患者・家族らのがんに関する相談について、がん患者又はその家族の方が行うピアサポーターなどの相談員に対し、相談事業に関する基本的なスキルを身につけるための研修を行うための研修プログラムを策定し、全国における相談事業の均てん化を図ることを目的とする。</p> <p>⑧ 小児期(5歳から14歳)における疾病による死因の第1位が小児がんであるにもかかわらず、その対策が十分でないことから、我が国の小児がん患者に対する治療の実情について比較・分析等を行うことにより、我が国における基幹的な小児がん病院のあり方を検討することを目的とする。</p> <p>⑨ 小児がん患者への緩和ケアは成人の場合と異なり、疾病構造や患者の体格が多様であること、成長・発達を考慮しなければならないこと、患者の絶対数が少ないこと等の理由から専門性の高さが求められ、普</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>がん医療に携わる医療従事者を対象とした以下の事業に対し、委託費を交付。</p> <p>① がん医療に携わる医師に対する緩和ケア研修事業 がん対策推進基本計画に基づき、がん患者の状況に応じ、身体的な苦痛だけでなく、精神心理的な苦痛に対する心のケア等を含めた全人的な緩和ケアの提供体制を整備するとともに、より質の高い緩和ケアを実施していくため、緩和ケアに関する専門的な知識や技能を有するための研修を行うとともに、普及啓発を行い緩和ケアを推進する。</p> <p>② インターネットを活用した専門医の育成等事業 がん患者が全国各地に住んでいても質が高く、安心して療養ができる医療の提供体制を確立することを念頭に、日々の業務に時間をとられて技能向上のための学習を十分に行うことができない、がん医療に専門的に携わる医師に対し、インターネット上での技能習得を可能とする環境を整備。</p> <p>③ がん医療に携わる医師に対するコミュニケーション技術研修事業 がん対策推進基本計画に基づき、がん医療における告知の際には、がん患者に対する特段の配慮が必要であることから、医師のコミュニケーション技術の向上を図り、がん患者が納得のできる適切なインフォームド・コンセントが行われる体制を整備するための研修会を実施。</p> <p>④ がん患者に対するリハビリテーションに関する研修事業 がん対策推進基本計画に基づき、がん患者の療養生活の質の維持向上を目的として、運動機能の改善や生活機能の低下予防に資するよう、リハビリテーションに関する研修会を実施。</p> <p>⑤ 国立がん研究センター委託費 放射線療法、化学療法、外科療法、緩和ケア、病理診断等を専門とする医師を含むがん医療に携わる医療従事者全般に関し計画的な育成方策等を検討した上で、研修プログラムの策定や院内がん登録情報の収集・分析を行い、がん種ごとの生存率を作成する。</p> <p>⑥ がん検診受診率分析委託事業 基本計画に掲げられた、がん検診受診率を平成23年度末までに50%以上とする数値目標の達成状況を把握するとともに、今後の課題等を検討するための事業を実施。</p> <p>⑦ がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム策定事業費 都道府県に新たに地域統括相談支援センターを設置し、患者・家族らのがんに関する相談について、がん患者又はその家族の方が行うピアサポーターなどの相談員に対し、相談事業に関する基本的なスキルを身につけるための研修を行うための研修プログラムを策定し、全国における相談事業の均てん化を図ることを目的とする。</p> <p>⑧ 小児がん医療に携わる医師に対する緩和ケア研修等事業 小児がん緩和ケアを実施する小児がん診療機関において、小児がん患者等に対して、緩和ケアに対する実施方法や効果などについて、受診実態等を踏まえつつ指導する。また、小児がん緩和ケア研修会の指導者を育成するため、緩和ケアに専門的に取り組んでいる医師に対してワークショップ形式による研修を実施する。</p> <p>⑨ 小児がん病院のあり方調査事業費 小児がん病院のあり方に関し、現在の我が国の小児がん患者に対する治療の実情や制度等各種必要な調査・検討を行う。</p>